

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 ◆D-1-2-1 事業名 街路樹植栽整備事業
事業費 総額 69,135 千円 (内訳: 本工事費 69,135 千円)
事業期間 平成 24 年度～平成 25 年度
事業目的・事業地区 東日本大震災の津波被害を踏まえ、現地再建を基本に復興まちづくりを推進することとして策定した多賀城市震災復興計画に掲げるビジョン実現の一貫として、震災以前のような安定した市民生活を早期に取り戻すこととしている。 市内の道路に関しては、震災により被災した道路の災害復旧事業に加え、津波浸水区域から砂押川対岸の安全な区域に速やかに移動するための避難路を確保するための整備を進めることを基本としつつ、これらの整備だけでは対応できない道路環境の回復、劣化した美観の向上も必要となっている。 このため、津波による街路樹の流失あるいは枯死・損傷等の被害が大きかった栄地区を中心として、失われた樹木の補植、健全な樹木への更新を行うことにより、街路樹を再生させる整備を行ったもの。
位置図 
事業結果 路線名：工場街路一号線、工場街路二号線、工場東二号線、工場東三号線 工場街路一号線：ケヤキ 3 本、ウバメカシ 10,512 本 工場街路二号線：高木（シラカシ、ケヤキ）74 本、低木（サツキツツジ）888 本 工場東二号線：高木（ケヤキ）2 本、低木（サツキツツジ）6,498 本 工場東三号線：高木（シラカシ）27 本、低木（サツキツツジ）4,698 本

施工前



施行後



<平成 24 年度～平成 25 年度>

・本工事費 69,135 千円

事業の実績に関する評価

①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

- ・本計画に基づき樹木の植樹整備を実施することにより、震災以前のような道路環境が回復し、美観の向上に寄与したものと判断される。
- ・避難路整備だけでは対応できない市民に親しまれる道路環境整備を行ったことにより、避難路の意義や防災意識の向上に寄与したものと判断される。

②コストに関する調査・分析・評価

- ・事業費の設計・積算は、基準書等により実施し、多賀城市契約規則等に基づき契約を行い、業者を選定している。
- ・また、コストについては比較できる直近の同種他事業が無いため分析は困難であるが、工事費については、震災前に植樹されていた樹種を鑑みて、決定しており、妥当であると判断できる。

③事業手法に関する調査・分析・評価

- ・本事業は、以下のとおり、概ね予定どおり事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

工事 入札手続き・発注・完了 平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月

<実際に事業に要した事業期間>

工事 入札手続き・発注・完了 平成 24 年 11 月～平成 26 年 3 月

・発注準備等に時間を要したものの、その後は工事請負者と密に調整を行うことで、円滑に工事を進捗させ、当初の予定通りに工事を完了することができた。

事業担当部局

建設部復興建設課 電話番号：022-368-1141